

警告

使用方法

- 本品の使用前には添付文書を熟読すること。
- 本品の使用に際して、医師及び医師の指示を受けた専門の医療従事者が、患者に適切な指導を行うこと。

使用目的

本品は患者の吸気量を表示し、深い呼吸を継続させる訓練を行うことで、患者の肺に刺激を与えて換気を改善するために用いる。

禁忌・禁止

適用対象（患者）

- 本品は同一患者使用である（複数の患者に使用しないこと）。
- 次の場合には本品を使用しないこと。
 - ◆ 十分な呼吸療法への協力や理解が得られない患者
 - ◆ 深呼吸のできない患者（肺活量が約10mL/kg以下、最大吸気量が予測値の約1/3以下）

使用方法

- 滅菌しないこと。

洗浄方法

本品の使用後は、マウスピースを水ですすいだ後、よく振る等して、十分に乾かすこと。

医師記入欄

患者名	
連絡先	
手術前の 訓練回数	mL
	回/セット
	セット/日
手術後の 訓練回数	mL
	回/セット
	セット/日
手術後の 酸素投与	有 / 無
	L/分

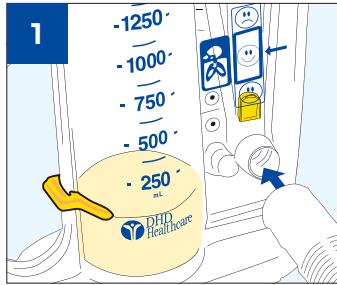
呼吸練習器具 インセンティブ・スパイロメーター コーチ2

患者様用 簡易版使用説明書

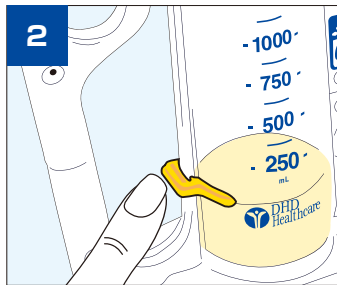


本品の使用前には添付文書を熟読すること。

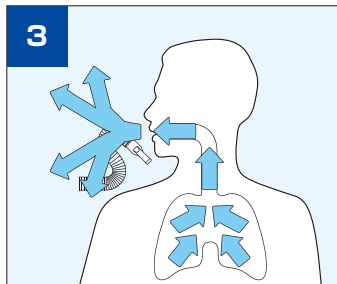
使用方法



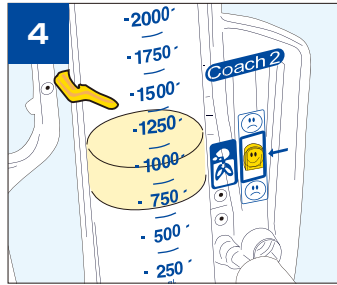
チューブを伸ばし、本体の吸気ポートに取り付けてから、マウスピースを先端に取り付けます。



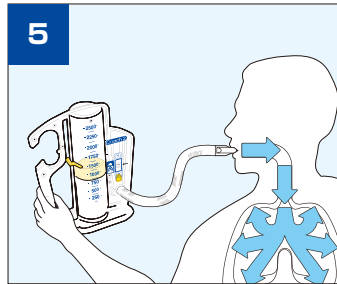
医療従事者の指示に従い、目標の吸気量に黄色のインジケータをスライドさせます。



体の正面で本体のハンドル部分をまっすぐ持ち、完全に息を吐いてからマウスピースを口にしっかりくわえます。



小さい黄色の「吸気コーチ」ができる限り太枠のニコニコマークに入るよう、**ゆっくりと長く深く息を吸います。**



これ以上吸い込めない状態になったら、**3~6秒程息を止めます。**1回ごとにマウスピースを口から外し、ピストンがハウジングの底部へ降りてきた後にゆっくり息を吐き出し、練習を再開します。



数回繰り返してから2~3回咳ばらいします。必要に応じて、咳をして分泌物を吐き出します。

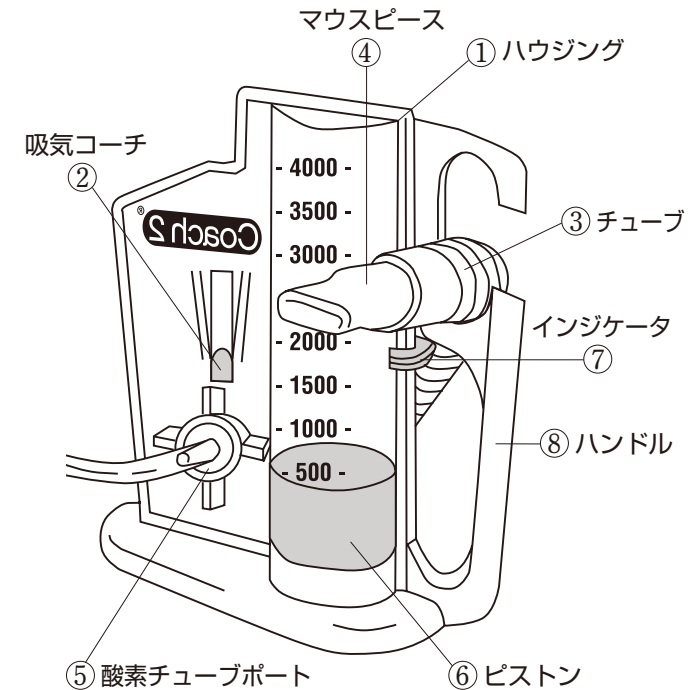
起きている時間帯は1時間に5~6回程度、(または医師から指示された回数)繰り返してください。

インセンティブ・スパイロメーター

インセンティブ・スパイロメーターは、全身麻酔の術前／術後に繰り返し呼吸練習(深呼吸)を行うことで気道の開存性が保たれ、喀痰の排出の改善、換気不全や無気肺の予防に有効です。

米国呼吸ケア学会(AARC)ガイドラインによると、特に無気肺が進むような状況の場合(上腹部手術、胸部外科手術、慢性閉塞性肺疾患のある患者の手術)や、四肢麻痺や横隔膜の機能不全などによる拘束性肺障害の場合に適應され、無気肺の予防や改善を目的に行い、吸気筋力の改善などにも用います。

システム内容



品番	品名
22-2500	コーチ2 2500
22-4000	コーチ2 4000

※22-2500 肺活量が2500mLまでの患者用

※22-4000 肺活量が4000mLまでの患者用

コーチ2は、総吸気量が見えるため到達すべき目標が明確です。

吸気コーチとインジケータにより、練習の目標設定および達成度の確認が容易にでき、周術期に必要な呼吸練習の意欲を促します。